

■事前作業

1	コンバートツールのインストール
2	移行元DBを、サーバ上のMySQLへインポート
3	移行元の実ファイルを、サーバ上のフォルダへ配置
4	コンバートツール設定、移行元DB・ファイルへのコンバートツールからの接続確認

■コンバートツールの実行

1	移行先DBのunique制約があるインデックスを削除 (index名: index_sys_sequences_on_site_id_and_name_and_version)
2	各種テーブルのデータを移行 その際、コンバート元、コンバート先のデータ内容を、移行ログとしてconvert_logsテーブルに保存する また、移行先で「id」カラムは新しいものが振られるが、「content_id」や「user_id」等、他テーブルとの関連付けに使用するカラムは、更新されことなくそのまま移行される コンテンツや、ピース、ディレクトリのアイテム種別については、このときに変更される
3	[2]で保存された移行ログを元に、「content_id」や「user_id」等他テーブルとの関連付けに使用しているカラムのid置換処理を実行する
4	[2]で保存された移行ログを元に、移行後の各種データでJoruri2017に合わせた形式に変更したり、必要な設定を自動作成する処理を実行 ・新着タブピースの、タブ設定に関するデータの書式をJoruri2017向けの書式に置換 ・記事のイベント用カテゴリの自動設定 ・各種コンテンツの詳細設定を追加 (記事設定等) ・ピース、レイアウト内に記述されている、[[emoji/****]]形式のタグを削除 (Joruri2017では対応していないため) ・記事・固定ページや、ピース等の本文内のURL置換
5	[1]で削除した、移行先DBのインデックスを再作成 (index名: index_sys_sequences_on_site_id_and_name_and_version)
6	不要なデータの削除を実行 (コンバートに対応していない、コンテンツ、ディレクトリ、ピースなど)
7	Joruri CMS 2017のディレクトリに移動し、Joruri CMS 2017の各データ一括作成処理を実行 ・関連ページ書き出しに使用する、ピースやレイアウト等の関連情報の生成 ・記事内リンク先URL生成 ・記事、固定ページの公開画面URLデータの生成
8	実ファイル (uploadディレクトリ、themesディレクトリ内のファイル) を移行
9	Joruri CMS 2017のディレクトリに移動し、データファイル静的書き出し、commonディレクトリコピー処理を実行

■その他

1	移行したsys_tasksテーブルのデータを元に、delayed_jobsテーブルへqueueを登録
---	----------------------------------------------------